





### 3. 再委託の内容に関すること

「登米市公民連携地域プラットフォーム」の協力を得ながら、地域と住民との対話を通じた事業スキームの検討や資金など支援措置の調査、現行制度における課題の検討、リスク分担とVFMの試算、市場調査、導入に向けた課題の整理などに関する調査を行った。

### 4. まとめ

#### (1) 事業方式について

本地区は、令和3年度より過疎地域指定となるため、有利な財源確保が可能となることから、財政負担の軽減を図るという面では、PFI手法と比較してDBO方式が優位であると考えられる。

#### (2) DBO方式における簡易VFMの試算結果

		従来型手法	採用手法	VFM
※現在価値のVFM	金額	3,424,040	3,124,078	299,962
	%			8.8%

#### (3) 本事業を通じて得られた課題認識

- 少子高齢化・人口減少が進む中で、単なる集約化・複合化にとどまらず、教育・人材育成などソフト面に重点をおいた計画を望む。
- 複数の運営主体が関わることで想定されることから集約化・複合化によるメリットが最大限発揮できる柔軟な運営のあり方を検討することが必要と考える。
- 道の駅や民間収益施設との連携により教育と稼げる施設の社会的実践の場がリンクするような視点からの計画を期待したい。

#### (4) 課題に対する今後の対応方針

本事業の具体化にあたっては、本事業の検討結果を踏まえ、米山地区事業推進研究会へ内容を報告し、民間事業者の意見を取り入れながら事業化に向け基本計画の策定、公募条件の整備を進め、市の中心拠点整備との連携を行いながら、地域拠点整備のモデルとなるよう政策決定が必要である。